

漁海況情報第6報 (2014年9月8日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

表面水温は前月から降温し20~24℃台となっています。

100m深水温は38° 30' N以北の142° 30' E付近に5℃台の冷水域が見られています。

宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は、ほとんどの調査点で前月から降温し20~24℃台となっています。仙台湾では平年より概ね1~2℃低く、38° Nの142° E~142° 30' E付近で平年より1℃高めとなっています。100m深水温は5~12℃台となっており、38° 30' N以北の142° 30' E付近に5℃台の冷水域が見られています。[P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

水温鉛直断面図をみると、各ラインとも水温成層が形成されています [P2.水温鉛直断面図]。

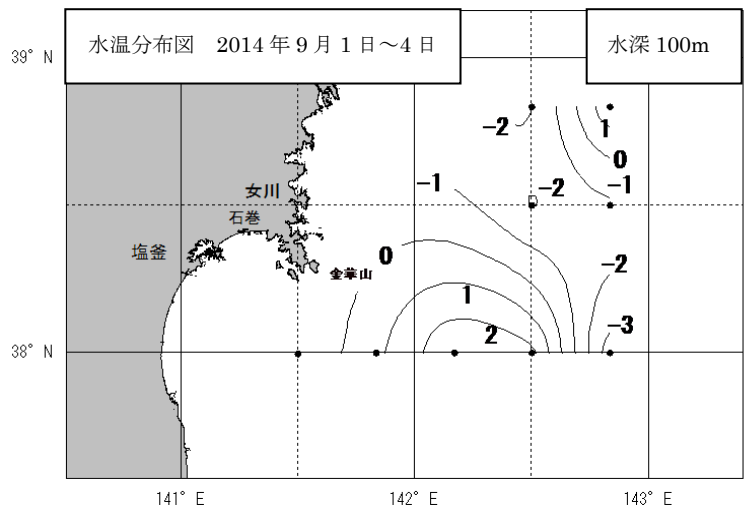
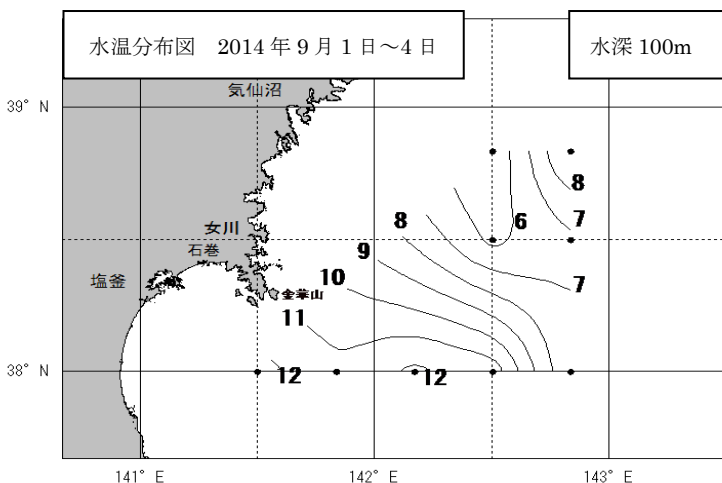
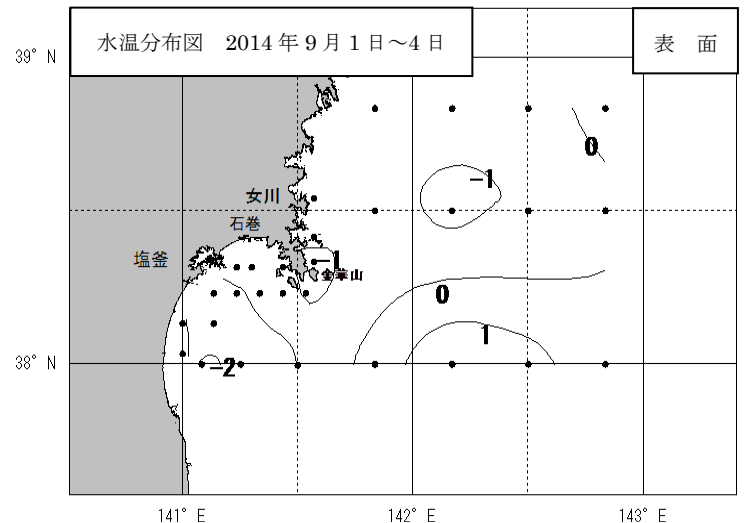
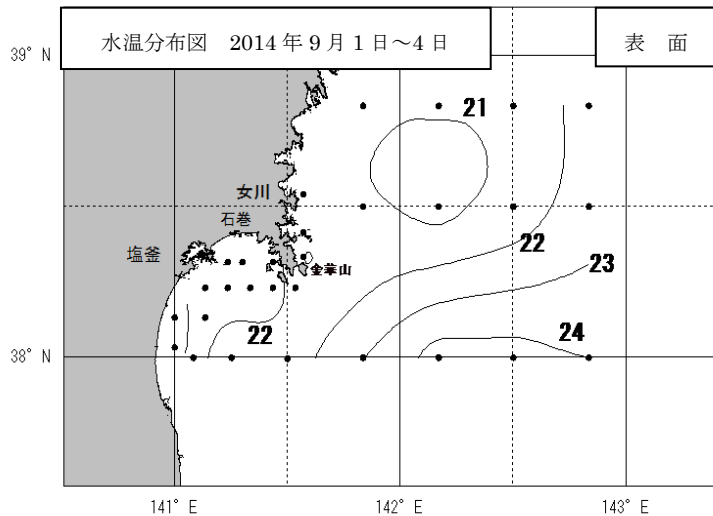
(一社)漁業情報サービスセンター配信の東北海域漁海況情報(表面水温)によると、親潮第一分枝が道東沿岸~襟裳岬を經由し、津軽暖流や北上暖水と混合しながら三陸沿岸を南下し、親潮第二分枝が三陸沖146-149° Eを南下しているのがわかります。[P2.東北海域の海況図:(一社)漁業情報サービスセンター]。

8月下旬の定地水温は21~25℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼(杉ノ下)、江島及び佐須浜が「平年並み」となっています [P2.定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、5~20℃台と概ね前年並みです [P3.海底直上水温図]。

・水温水平分布図

・水温平年偏差図(現在水温と平年水温との差)

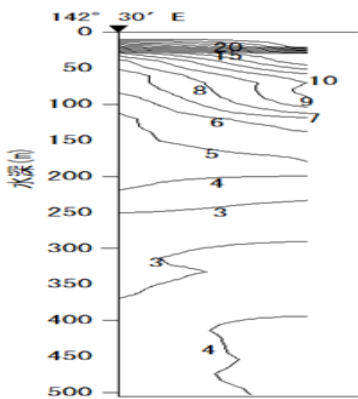


※海洋観測はみやしおと開洋が実施しました。CTD 不調により一部測点で欠測しました。

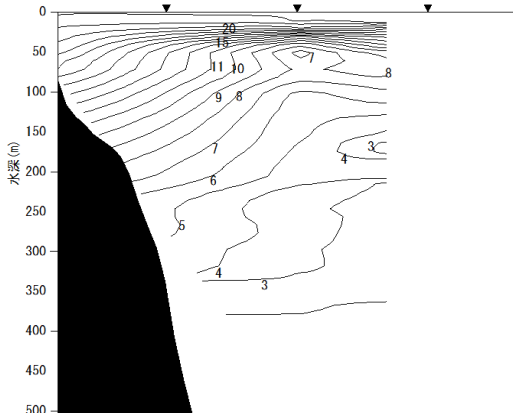
(補足情報)38° N 142° 30' Eと38° 30' N 143° 10' Eの調査点でマカジキ1匹視認しました。

・水温鉛直断面図

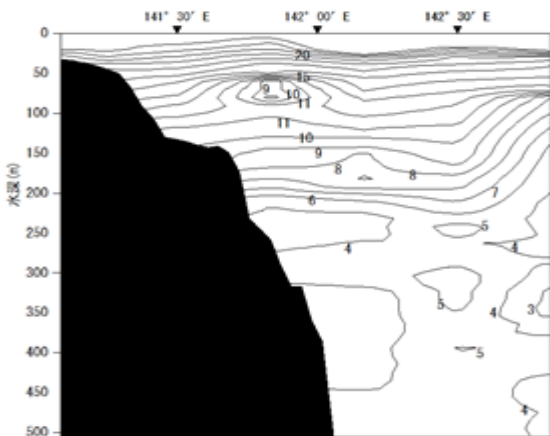
38° 50' Nライン(気仙沼沖合ライン)



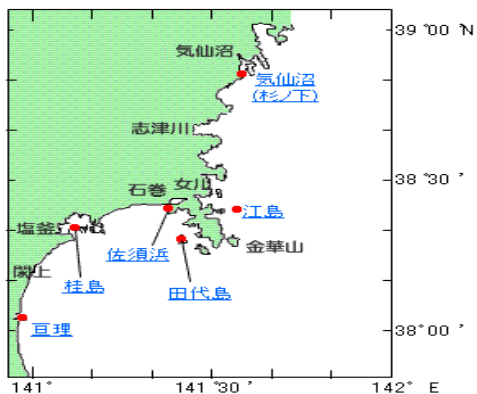
38° 30' Nライン(雄勝沖合ライン)



38° Nライン(亶理沖合ライン)



・定地海洋観測

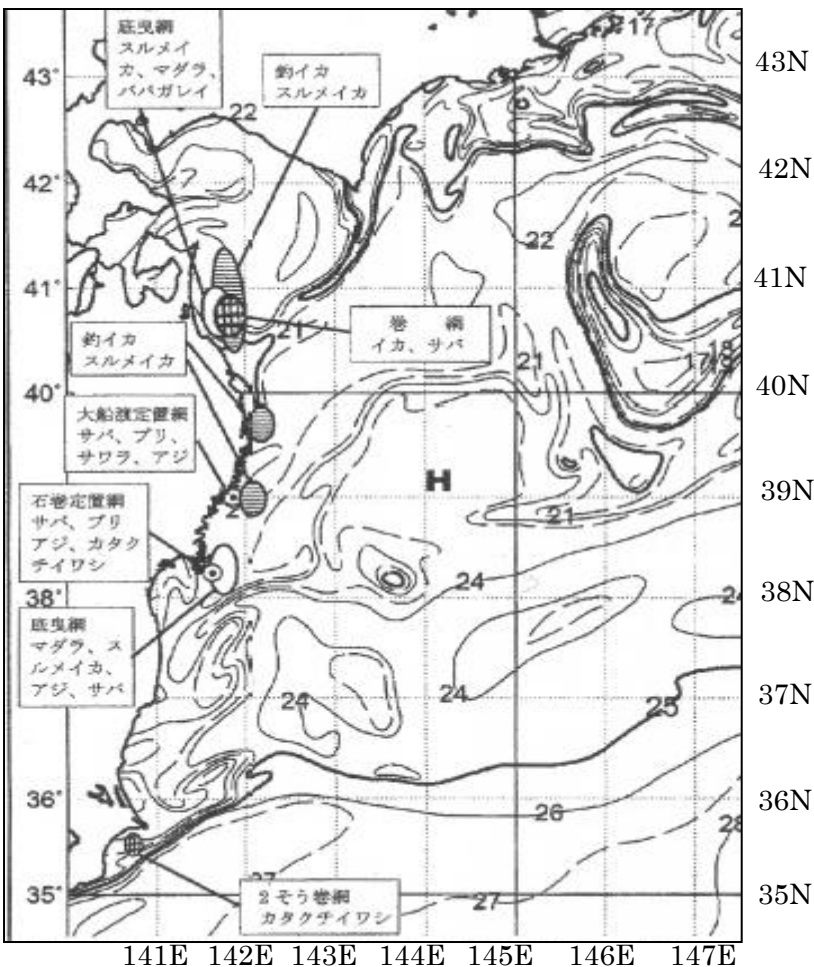


※最新の定地海洋観測結果は、

「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/kaiyou/201409suion-index.html>」でも公開中です。

2014年9月4日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター (9月4日表面水温)

- ・黒潮は犬吠崎沖南東 20 海里を東北東へ進み、常磐～三陸沖 142-146° E 付近を暖水が北上。
- ・親潮第一分枝は道東沿岸～襟裳岬を經由し、津軽暖流や北上暖水と混合しながら三陸沿岸を南下。
- ・親潮第二分枝は三陸沖 146-149° E を南下。
- ・三陸沖 143-146° E の暖水渦は持続。
- ・下北～金華山 19～21°C 台。仙台湾 22～23°C 台。

観測点	8月下旬	平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	21.8 °C	平年並み	0.1 °C
江島	21.7 °C	平年並み	0.3 °C
佐須浜	24.4 °C	平年並み	-0.1 °C
桂島	25.7 °C	-	-0.3 °C
亶理	24.4 °C	-	-0.4 °C

※田代島は自動観測装置による観測を中断しています。

※平年差

岩井崎, 江島 (30年)

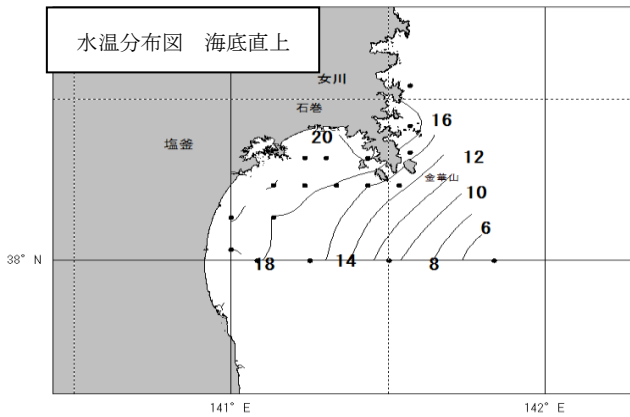
佐須浜 (10年)

桂島 (平成24年2月から観測開始)

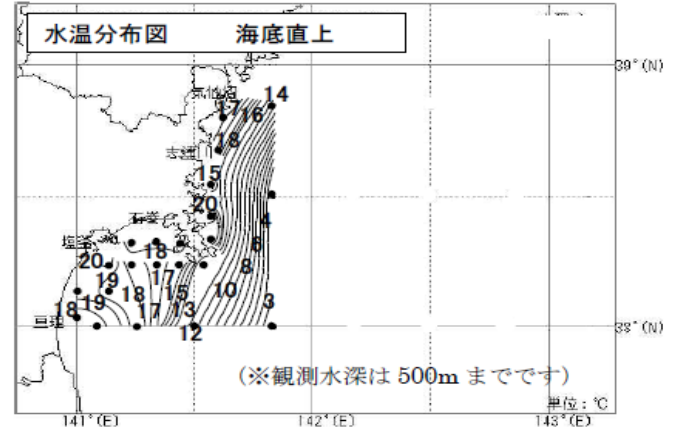
亶理 (平成24年10月から観測開始)

・海底直上水温図

・海底直上水温(2014年9月1日~4日)

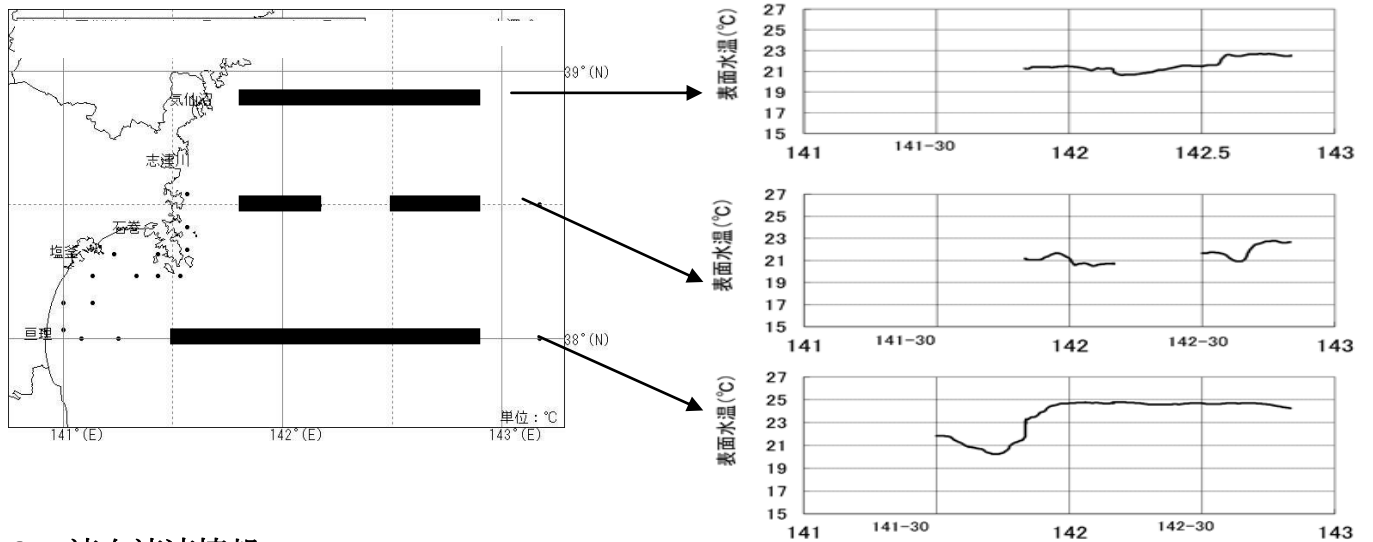


・前年同期海底直上水温(2013年9月2日~18日)



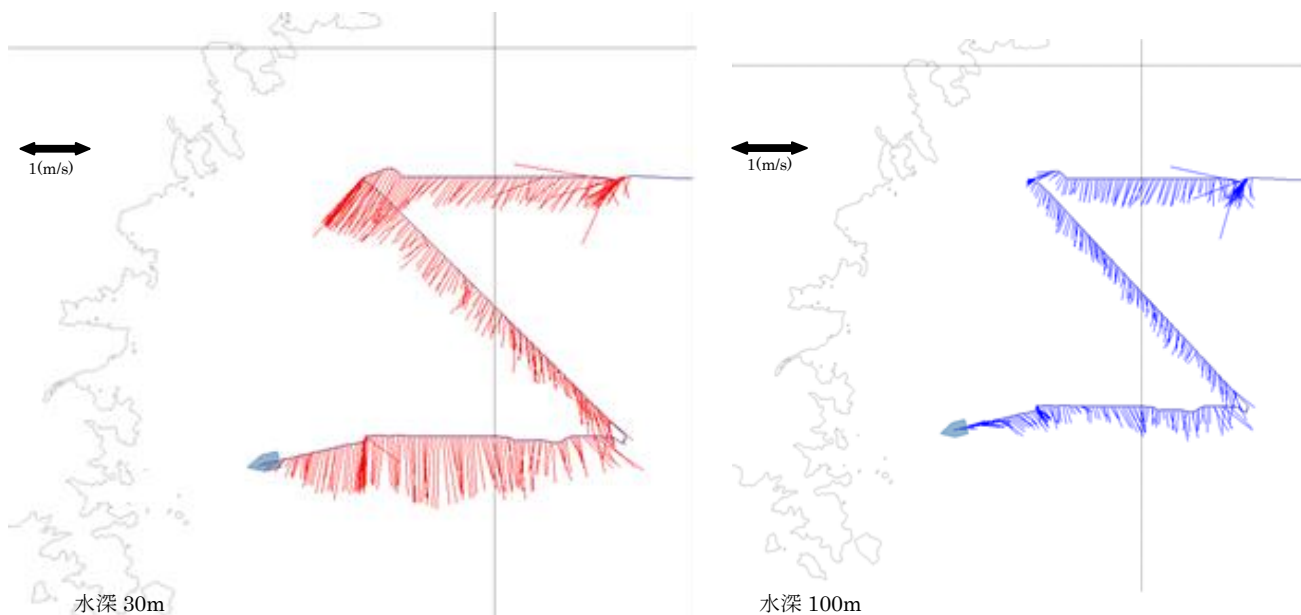
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 30m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。県北~中部海域の流向(水深 500m 以浅)は概ね南向きの流れが観測されました。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

荒天のうねりにより、水深 500m 以深のデータが取得できませんでした。

4. 漁況

平成26年8月の水揚量を見ると、前年比でマイワシ、サンマ、マアジ、ヤリイカ、マダラ、スケトウダラ、キチジ、キアンコウ、ヒラメ、マコガレイ及びマガレイの水揚げが多くなっています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成26年8月1日~8月31日)

単位:トン												
	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網 全漁法	イカ釣り	延縄	その他	総計	前年比
カツオ			7,315		2,525	0	0			4	9,845	63%
ピンナガ			4		34				76	0	114	7%
クロマグロ(メジ含む)			47			2				8	57	21%
メバチマグロ(ダルマ含む)			252		99				61	48	460	95%
マイワシ						77				24	101	372%
カタクチイワシ						249				1	250	36%
さば類		0	184			1,084	0			14	1,283	79%
サンマ				24						4	28	1353%
ブリ		0			0	217	0			4	221	64%
マアジ		7				474	0			8	490	158%
サワラ		0				8	0		0	0	9	89%
スルメイカ		4				22		15		1	42	70%
ヤリイカ		5				28				0	34	1984%
マダラ		0					64			491	555	514%
スケトウダラ							2			17	19	730%
キチジ										1	1	228%
キアンコウ		6				0	0			0	8	576%
マアナゴ		9				0	0			63	73	78%
ヒラメ		46			0	6	51			32	135	139%
マコガレイ		9				0	4			3	16	122%
マガレイ		71					2			0	73	1761%
ババガレイ		0				0	0			0	1	100%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)
※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す。

5. 大型クラゲ情報

(一社)漁業情報サービスセンターによると(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)、現在の日本海域への出現状況は、「これまでのところ約50個体で、まとまって出現の可能性は低い(9月5日)」となっています。当センターでは今月から大型クラゲの来遊調査を実施しており、今後も来遊状況は随時お知らせしていきます。

6. 調査船運航計画

みやしお	
9月9日 ~ 9月11日	カレイ類発生量現存調査
9月18日 ~ 9月19日	イカ類漁場臨時調査

開洋	
9月9日 ~ 9月10日	籠調査
9月16日 ~ 9月17日	刺し網調査
9月22日	ヒラメ着底稚魚調査